

地方支部長が抱負を語る

関東地方支部長

高宮成昭

▽▲▽▲ 座右の銘 初志貫徹 ▲▽▲▽

**洋上で新年を迎えられた組合員の皆さま、そして組合員のご家族の皆さま、
新年おめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。**

さて、関東地方支部管内ですが、横浜市を拠点とする関東地方支部と、新潟支部、三崎支部、静岡支部の4つの支部で、執行部と職場委員が一丸となって組合活動を展開していますが、今年もさらなる組合活動を展開していく所存です。

昨年も新型コロナウイルス感染症の猛威と予断を許さない状況が続き、組合活動にも大きな影響を及ぼしました。外航部門においては、ドライバルク、コンテナ市況の高騰・高止まりなどによって過去最高益を大きく更新した企業と厳しい経営を余儀なくされる企業など、明暗が分かれる結果となったほか、2月下旬、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、エネルギー関連をはじめ各国経済にさまざまな影響を与え、現在も先行き不透明感が漂っています。

水産部門においては、商業ベースでの捕鯨が再開され4年目を迎えましたが、捕獲鯨種および捕獲頭数の他、新たな母船の建造など多くの課題がありますが、今後も本部および関係諸団体と連携し、捕鯨業務に従事する組合員および、漁船漁業に従事する組合員の雇用と職域の安定を念頭に引き続き取り組みます。

国内部門においては、収束が見えない新型コロナウイルス感染症の影響が今後、どこまで及ぶのか懸念されます。一方、後継者不足による若年船員の確保・育成に加えて、若年層、中堅層の定着率問題、船舶の老朽化および環境対策は、深刻な問題として引き続き官労使における共通の課題となっています。

外航・水産・国内各部門とも、就航航路や船種を問わず、組合員の雇用と職域の安定を第一義に、支部活動を展開し、船員後継者確保・育成と船員政策の具現化に向けた活動にまい進します。

「海員だより」